

～ペットボトルで気圧計を作ろう！～

「明日の天気を予想してみよう」

一般社団法人日本気象予報士会 関西支部

* 寺野健治、箭川昭生、木村修治

私たちの身の周りには重さがあります。
空気の重さ(気圧)は、常に変化し、それともなって
天気も変化しています。



- ◇ ペットボトルで気圧計を工作しよう！
- ◇ 空気の重さ(気圧)を測ってみよう！
- ◇ 明日の天気を予想してみよう！

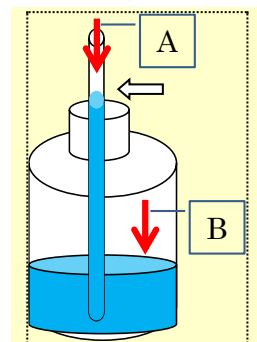
(1) 準備するもの

500mlペットボトル、ストロー、木工ボンド、マジック、定規、錐(きり)

- ① ストローにマジックで目盛(5ミリ間隔)を入れる。
- ② ペットボトルのキャップにキリなどで穴をあけ、ストローを通す。
- ③ ペットボトルに水を約半分入れ、ストローの下半分は水の中に入れおく。
- ④ キャップとストローの隙間は木工ボンドで空気が出入りできないようにする。
- ⑤ ストローの上からスポイドで水を2cm程度入れる。

(2) 気圧の測り方

- ① 4～5日続けて水位の変化を測定する。
気圧測定は、気温変化の少ない部屋で行う。



(3) 水位の変化から天気を予想してみる。

はじめ、気圧(A)と気圧(B)が釣り合っている。

- ① 高気圧になると外の気圧(A)が大きくなり、
ストローの水位は下がる。天気は晴れるところが多い。
- ② 低気圧になると外の気圧(A)が小さくなり、ストローの水位は上がる。
天気は雲ができて、曇りや雨が降るところがある。

(お問合せ先) 寺野健治 TEL 06-6427-7953